

平成27年度第2回東庄町総合教育会議（議事録）

1. 開催日時 平成27年12月17日
開会：午後3時00分 閉会：午後3時50分
2. 開催場所 東庄町役場 会議室2
3. 議 題
(1) 東庄町教育大綱について
4. 出席者
東庄町長 岩田 利雄
教育委員会
教育長職務代理者 林 英伸
委員 多田 和代
委員 小林 衛治
委員 向後 元道
事務局 総務課長 金島 正好、総務課主幹 向後喜一郎
5. 傍聴者 なし
6. 議事の経過 別紙のとおり

金島総務課長 ただいまから第2回の東庄町総合教育会議を開会いたします。次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。開会に当たりまして岩田町長よりご挨拶を申し上げます。

岩田町長 会議に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げます。委員各位には、第2回目の総合教育会議ということで参集いただき、ありがとうございます。本日は、この総合教育会議の協議・検討事項の一つであります大綱の策定に関して協議をお願いするものです。第1回目の会議で申し上げましたが、私は、教科書の採択や、教職員の人事配置等につきまして、関与する考えはなく、教育委員会におかれましては、これまでと変わりなく、子供たちの教育のため、適正な判断、適正な人事配置に努めていただきたいと考えているところであります。大綱の策定に当たりましては、こうした考えによりまして、現在の第5次東庄町総合計画の基本構想における教育に関する部分を、大きな理念として、引用することといたしました。ご協議の上、了承を賜りたく、お願い申し上げます。本日は大変ご苦労様です。

金島総務課長 次に議事に入りたいと思っております。議事進行は町長にお願いいたします。

岩田町長 それでは、議題の1 「東庄町教育大綱について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

向後総務課主幹 それでは、私から、東庄町教育大綱（案）について説明させていただきます。1ページ目をお願いいたします。町長のあいさつにありましたように、大綱の策定に当たりましては、現在の第5次東庄町総合計画との整合性を図り、総合計画の基本構想の部分から引用することといたしました。なお、冒頭の部分は、町長の教育に対する思いが記載されています。それでは、大綱の内容を読み上げまして、ご説明させていただきます。

1 子どもの教育と健全育成、 将来の町を担っていく子供たちに対して、「活きた学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育体制と環境を整備します。また、地域社会との連携を強めながら、子どもたちの健全育成を図るための事業を推進していきます。

2 生涯学習体制の整備 多様化する生涯学習に対するニーズに対応していくために、体制を整備し事業を体系的に推進することにより、町民の生涯学習に関する意欲を高め、活動を活性化させていきます。

3 芸術・文化活動の推進と継承 町民による芸術・文化活動を支援し、まち独自の地域文化の創造を図っていきます。また、東庄町の特徴ある文化財や、古くから伝わる伝統芸能の保存・継承を図るとともに、その活用による地域づくり活動を推進していきます。

4 スポーツ・レクリエーションの推進 スポーツ・レクリエーションを、幅

広い年代層が持続的に行うことができる社会活動の場と捉えて、活動機会の提供、指導体制の強化など、活動を生涯続けていける環境づくりを進めていきます。以上、読み上げましたが、内容は大きな理念として、基本構想から引用しております。また、具体的な施策に関しましては、総合計画や各種の計画に盛り込まれることが予定されているところでございます。以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

岩田町長 説明が終わりました。ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

林教育長職務代理 本日は大綱ということですので、第5次総合計画から引用されたということで、包括的なこととして、大綱としてこれでよいと思います。具体的な施策について総合計画というお話がございましたように、少子化の流れが進んでいる中で、スポーツ・レクリエーションの推進や子供の健全育成を少子化に沿ったものを一つ、何か進めていかなければいけないのかなと考えています。スポーツ・レクリエーションで、団体競技ができなくなっているという状況もあります。反対に東庄町には特色ある施設もありますし、文化的なものも含めて推進して、実施している方々もいらっしゃいますので、そういう方々にスポットライトを強めに当てるといったことも、今後必要になってくるのではと考えております。

向後委員 学校の中では、特別支援教室といった障害を抱えている児童もおります。これに対応するための教職員が足りないといった問題があります。教育委員会としても、県に要望しているところですが、県としてなかなか派遣できないといった状況のなかで、町としては、ある程度、町のお金を使ってでも、支援をしていくというような考えはあるかどうか、町長のお考えを聞かせていただきたい。

岩田町長 すべてを県にまかせていると、県としても人員や配置など、難しい部分もあると思いますので、そうしたところは、町として対応しなければいけないと考えております。今すぐに必要という場合もありますので、そのような場合は、町ができる限りの支援をするという考えで進めてまいりたいと思います。

小林委員 大綱ということで、大きな4つのテーマについては、私はこれによろしいのではないかと思います。一つ、町長にお尋ねしたいのは、前文の下の方、「また、町外から移り住む世帯が増加する効果をもたらすよう」とありますが、具体的な施策があれば、その一端でもお話いただければと思います。というのは、今は、逆に東庄町から出て行っているんですよね。私はそのように理解しているんですけれども。

岩田町長 子どもを育むということで、町でいろいろとやっていることが、

あまり表に知られていないということがあるなと感じています。例えば、町では18歳までの医療費を無償化しました。高校生までといたしますと、なかには、いろいろな状況で高校に進学できなかったという人もいますし、通信制で勉強をしている人もいます。そうした人も対象になるように、18歳までということにしました。そういった物事の考えや施策をPRしていけば、東庄町で教育を受けてみようかという人も増えてくるのではと考えております。ただ、そうしたことは、すぐに結果が出るものではなくて、例を挙げますと、東庄町は、後期高齢者、国保を含めて千葉県で、最も医療費のかからない町ということで、先般、発表がありました。これは10年以上をかけてですね、病気にならない、寝たきりを作らないという一つの地道な運動のようなものが効果を表したのかなという思いがします。人を町に呼び込むというのは、助成金などいろいろな支援をするというのも一つあるんですけども、私は、あの町で学んだ子供たちは将来に向かって一生懸命努力しているところがあるよといったことが、よい形で表れてくれればと思います。今度の統廃合も、単に学校を統合することだけではなくて、何か特色のある学校が出来上がれば良いかなという思いがします。東庄町の教育はいいねと言われるよな、これという具体的なものはないですが、何か特色のあるものがあって、それを住民の皆さんが支えてくれるような状況が生まれると良いなと考えております。ですので、高齢者と子供たちをどうやって結び付けたら良いものができるかとか模索しているところです。下條村という村が長野県にあるんですけども、道路普請は、材料をもらえれば、村人がやってしまう。それで浮いた村のお金を、子育て支援にあてるということで、注目を集めています。そういったことを知って、そこに住んでみようかと思う人が増えているということです。この問題は難しいのですけれども、大事なことは、今いる人々をいかに大事にできるかということで、それを見た周りの人が東庄町はいいな、住んでみたいなと思っていただけるようになればと思います。小さな町の良いところはなんだろうと考えると、祭りを中心とした人の集まりなんですね。やるのは大変ですけども、続けることは素晴らしいと思います。先般、左右大神の12年に一度の御神幸がありました。今、旭市と東庄町で氏子は分かれていますけれども、あの祭りのときは、一つになるんですね。この祭りを続けてこれたのは、まさに氏子さんたちの思いです。歴史的にはあのお宮は1333年の年数を経て、守り通したものをやる、神代地区のほんの限られた地域で引き継がれてきたわけです。御神幸では、子供たちがこんなにいるのかと思うほど、お稚児さんがいたんです。それは、住んでいる人もそうですが、それに協力しようということで、地元の出身者であるとか、親戚であるとかの子供たちもそれに参列して、祭りを盛り上げた、聞いております。いないから何もしないということでは、すたれます。しかし、

誰かが、今年もやろうじゃないかと声を上げて、始めると、意外に良い祭りとなったということです。先日、奉賛会の解散式があったんですが、「できない話をするなら会議はいらない。どうしたらできるかということで始まるのが会議だ。」と宮司さんが言っていたことが印象に残っております。長くなってしましましたが、統廃合ということで、一つの学校で同じことを学ぶという中で、何か特色あることができるのではないかと考えております。流出の理由でも、子供たちがいないということが理由だと聞いたことがあります。統合によって、そういったことも解消してくるのではないかと考えております。是非ともこの統廃合の問題をきちっとしていきたいなと考えております。

小林委員 長野県の下條村では、アパートの家賃を3万円くらいに低くして、そのかわり村の行事に参加することを条件にしたり、あるいは道路普請は自分たちでやるなどして浮いたお金を子供たちに使うということで、人口も増えている町で、そういった町を視察するのもよいかと思います。

多田委員 町長がよく言われる小さな町だからできることが、東庄町で実現できるのではないかと期待をしています。左右大神の神幸祭を見て、郷土愛というのはこういう祭りに参加して生まれるものなのだなということを実感しました。こうした文化財の保護を継続させることの大切さを感じました。新しい教育委員会制度になりまして、総合教育会議が開かれました。直接こうして町長の考えを伺ったり、教育委員がそれぞれの考えを伝えあうことで、意志を共有できるようになると期待しています。また教育長が任命されれば、さらに充実した教育委員会となりますので、よろしくお願いします。

向後委員 学校活動の中で先生方の勤務時間の膨大さがいろいろ問題となっています。支援員の問題もそうですが、すべてを先生方に負担させるのではなく、ボランティアやNPOなどの力を借りて、面倒を見ていくといった体制づくりも一つの方法だと思います。予算の関係もありますので、町と一体となって進めていければと思います。

小林委員 外部の指導員は、仮にけがをした場合の責任の所在など、難しい問題があるんですね。教師と指導者とお互いに意思疎通を図らないとうまくいかないと思います。

林教育長職務代理者 やはり先生と第三者と保護者と、その中間に入る人がいないと難しい面があると思います。また、けがの問題もあることは事実ですので、これは、保険も進んでいるので、その辺の環境を整えていけば多少違ってくるのではと思います。それからもう一つ、大綱の冒頭の部分にあります「全国や世界で活躍する人材」ということで、意外と活躍している子供たちは、学校教育に限れば結構いると思うのです。そうした人材の活用を含めて、青馬の里などの施設をもう一度、有効に利用していくことを検討してみてもいいと思います。

す。今あるものに光を当てることで、外から人が来る、人が出ていかないというまちづくりに、なっていくのだらうと思います。

岩田町長 それでは、質疑等を終結しまして、お諮りいたします。委員の皆様、この東庄町教育大綱をご了承いただけますでしょうか。

<異議なし>

岩田町長 ありがとうございます。それでは大綱については、この案のとおり私のほうで策定してまいります。本日の議事は以上でございます。これで議事を閉じさせていただきます。

金島課長 それでは、決定していただきました教育大綱につきましては、策定いたしまして町ホームページに掲載、また、ただいま議会中でございますので、最終日の全員協議会で議会に報告いたします。よろしくお願いいたします。

岩田町長 ご審議ありがとうございました。以上をもちまして第2回総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。